

「家族の風景①」

お父さん方、このような経験はないでしょうか。

仕事を終えて「ただいま」と家に帰ると、家族はすでに食事を済ませていて、自分の分のおかずだけが食卓に・・・。

お父さん方の中にはこの光景を見て、「少しずつ何か自分の大切なものが削られていく」と寂しさのようなものを感じる人もいます。

そういう感覚が蓄積されていくと、やがてそこから大きなすれ違いが生まれます。

そしてそのまま1年も経つと、お母さんが「家族旅行しよう」と言っても、お父さんは、「俺も行かないといけないの?」という反応になってしまったりするのです。

前回、「お父さんはお母さんの笑顔のために」とお話ししました。では、逆にお母さん方はどんなことに気を付けたら良いのでしょうか。そのポイントは「**男性のプライドを大切に**する」ということです。

私たちが開催するイベントに、「高濱さんがやるなら応援するよ」と言って、自分の子どもが参加しないにもかかわらず手伝ってくれるお父さんがいました。

私から見ると夫婦仲はとても良く、子育てもがんばる「スーパーパパ」でした。私が「本当に理想の夫婦ですね」と話すと、彼は「実はこの間までは離婚寸前だったんですよ」と言うのです。私が驚いていると、こんな話をしてくれました。

夫婦関係がうまくいくようになったのには、きっかけがありました。それは、最近家で食べるご飯の量が以前よりも多くよそわれていることに彼が気づいたことでした。

息子さんとお風呂に入った時に何気なくそのことを話すと、息子さんがこう言ったそうです。

「ママはね、いつも僕に言っているよ。『私が選んだパパなんだから、家族で一番じゃなきゃ。パパは偉いのよ。ご飯もパパに一番多く食べてもらおう』って」

彼は、息子さんの話を聞いてとても驚きました。奥さんがそんなことを言っているなんてまったく知らなかったからです。

それから彼は「この家族のためだったら死んでもいい」と本気で思うようになったそうです。お母さん方は「たったそれだけのことで」と意外に思われるかもしれませんが。でも男性というのは、「家族から尊重されたい」と思っているのです。それが男性としてのプライドなのです。この家族の場合、家族みんながお父さんのご飯を大切にすることで「お父さんを尊重している」ということが伝わったわけです。

子どもたちの成長にとって夫婦関係はとても大切ですが、異性同士というのはお互いに知らないことだらけで、いろいろなすれ違いが生まれます。お互いの気持ちを完全に理解するのは難しいです。だからこそ、日々お互いに**相手が喜ぶことや嫌がることをいつも考え、より良い関係を築くよう努力することが大切です。**

「家族の風景②」

家族にはいろんな風景がある。そして、それぞれの風景は、家族ひとりひとりの、心の風景でもある。

会社勤めの18年間、私はずっと人事部に所属していた。人事部は一見、華やかそうに見えるが、実は最もつらい職場なのである。社員のサラリーマンとしての悲しさを見るのが、人事部の仕事みたいなものである。

会社勤務の頃、5年に1回行われる会社の大運動会の会場で、私はある社員の家族の風景を見て、とても感動した。その大運動会は、会社が大きな遊園地を一日貸切って、家族ぐるみで行われる大規模なものであった。

その遊園地の大観覧車の下で、ある社員の家族が楽しそうに弁当を広げていたのである。両親と小学生の女の子と、幼稚園の女の子の一家四人が、楽しそうに話しながら弁当を食べていた。実は、この父親は会社では能力的にあまり評価されていない人だったのである。

毎年、配置転換の対象となり、人事部の私は、職場の上司に頼まれて、その人の受け入れ先を探し回ったが、なかなか受け入れてくれる職場が見つからないのであった。とても真面目な人なのだが、仕事のスピードが遅いのであった。

その父親を囲んで、一家四人が楽しそうに弁当を食べていた。父親はそんな子供達を見ながら、満足そうにうなずいていた。父親が会社でどんな評価を受けていようと、そんなことは、この女の子達にとっては全く関係ないのである。そして、この子供達にとってはかけがえのない父親なのである。私は思わず目頭が熱くなった。その時、小学生の女の子が言った。「お父さん、今日は楽しいね。いい会社に入ってよかったね」と母親が言ったのである。「そうよ、お父さんのおかげよ」私はまた、目頭を押さえていた。そして、その場をそっと離れたのであった。

荒木忠夫 著 「こころの風景」より

私は閃きました「**陰誉め幸福法（健康法）**」はいかがでしょうか？

みんなそうだと思うけど、他人から誉められたり～感謝されたりすると、嬉しくなって何か元気にさえなると思いませんか？そのパワーを手に入れる方法です！

つまり「**陰誉め健康法**」とは「**陰口**」の反対に心掛けてみようという事です。

たとえば「井戸端会議」や「飲み会」などで、その場にいない人を、一生懸命に誉めたり、感謝したりしてみようという健康法です。それを繰り返していると、ある日

「〇〇さんが、こないだあなたの事を誉めてたよ！感謝してるって言ってたよ！」

という話をその「**陰誉**」された人が耳にします！！

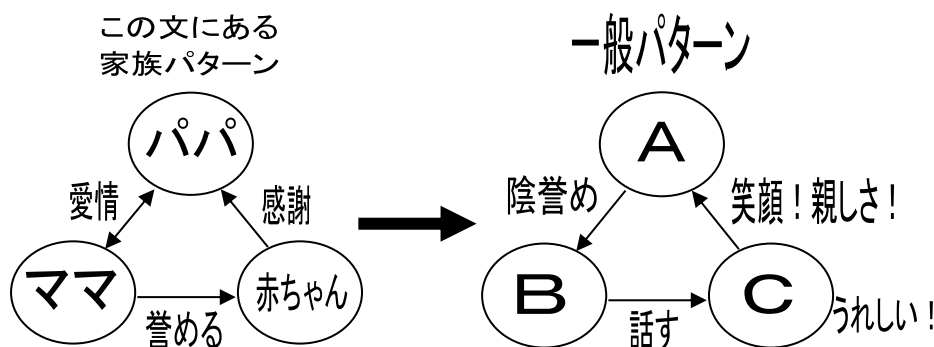
そうしたら、その方が「**陰誉**」した人と会ったときっと、全然違う親しみが倍増した接し方、笑顔になると思うのです。

そしたら自分も気分よくなるはずです。きっと面と向かって「**誉める**」のは

照れくさかったり、相手にとっては「しらじらしく」「お愛想に」感じたりする事もあるかもしれませんが、第三者から言われると、きっととっても素直に聞いて、気分

良くなれると思いませんか？**まさしく「陰口」の逆パワー**です。

きっと善（感謝）の水車が、強く回り始めるはずだと思いませんか？



※結果「**パパ**」も「**A**」も
幸せな気分で、元氣
に頑張るパワーを
手にする



P. S.

本日より私（倉光）は、新しい健康法「**陰誉健康法**」を提案するとともに実践する事を宣言します！！

（細かい実践方法は、指導しますので店頭にてお尋ね下さい（笑））